目ざまし時計

取扱説明書

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用願います。
なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

本製品、ならびにアフターサービスなどご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号(品番)をご確認の上、お買い上げ店または、セイコークロック(株)お客様相談室にお問い合わせください。（例：AMOOO、PWOOO、KROOOなど）

お客様相談室　0120-315-474

http://www.seiko-clock.co.jp

発売元

セイコークロック株式会社

説明書番号　DJF-044P

製品仕様 ▶（改良のため予告なく変更する場合があります。）

- 精　　度：平均月差±20秒（気温5℃から35℃で使用した場合）
- 使用温度範囲：−10℃〜+50℃
- アラーム：切替式（合成ベル音、おしゃべり1・2）
- アラーム精度：±5分
- 音量切替：2段階切替式（大／小）
- 使用電池：単3形乾電池　3個
- 電池寿命：約1年
  ※単３マンガン乾電池（R6P）を3個使用時
  ※１日につきアラームを音量「大」で10秒間

▲電池寿命はご使用条件により変わる場合があります。

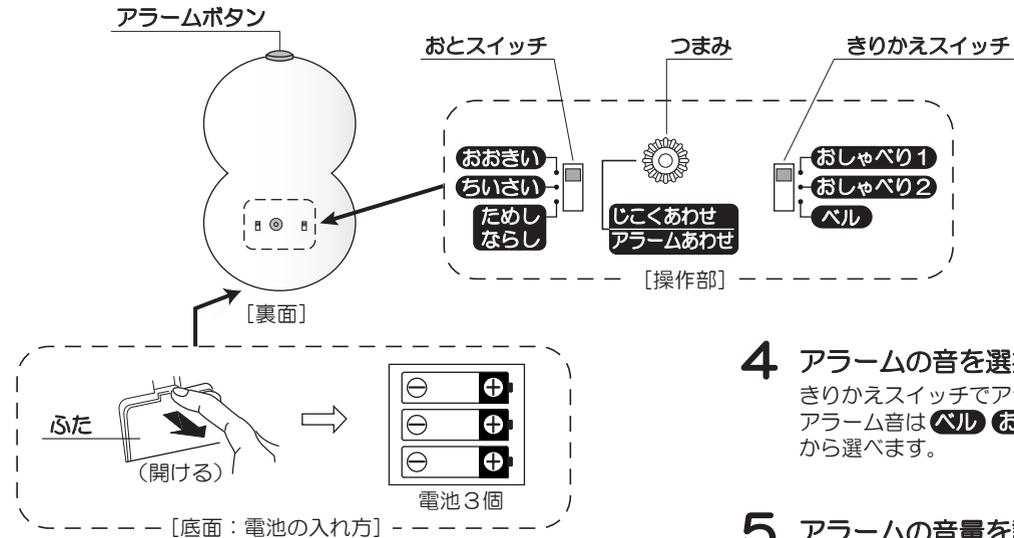
付属品 ▶（ご使用の前にご確認ください。）

■モニター用電池（単3形乾電池）3個　■取扱説明書（本書）1枚
■保証書　1枚

※付属の電池は、動作を確認するためのモニター用電池（お試し用電池）です。
お買い上げ後、仕様の年数に満たないうちに電池寿命が切れることがあります。

この取扱説明書の内容は、予告なしに変わることがあります。
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が、実際の表示と異なる場合があります。
この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。
この取扱説明書を製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。

ご使用方法 ▶（時計により外観が異なりますが、操作方法は同じです。）

■各部の名称　（※図は説明のため簡略にしています。）

■１〜７の手順に従って操作してください。

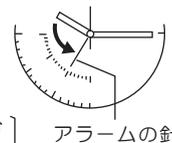
1 電池を入れる　（単３形乾電池　3個）

底面のふたを開けて電池を入れてください。
電池は ⊖ 側から ⊕⊖ 表示に合わせて間違えないように入れてください。
※種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
※充電式電池や初期電圧が高い電池は使用しないでください。
正常に動作しない、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

2 現在時刻を合わせる

つまみを手前に引いて回し、現在時刻に合わせてください。
（左右どちらに回してもかまいません）
合わせたあとつまみを押して戻してください。

3 アラーム時刻をセットする

つまみを押し込んだ状態で回してください。
●アラーム時刻を合わせるときは、アラームの針を、必ず ↩ 方向（反時計まわり）に回してください。
●アラームは、セットした時刻の５分前から５分過ぎの間に鳴りだします。
［例えば、７時に合わせたとき、６時55分から７時5分の間に鳴りだします。］
※時計まわりにアラームの針を回すと、セットした時刻より早く鳴りだすことがあります。

アラームの針

4 アラームの音を選択する

きりかえスイッチでアラーム音を選んでください。
アラーム音は ベル おしゃべり１ おしゃべり２ から選べます。

5 アラームの音量を調節する

おとスイッチでお好みの音量を選んでください。
おおきい ── 音量：大
ちいさい ── 音量：小

6 アラームを鳴らす/アラームを鳴らさない

アラームボタンを押すたびにアラームの「ON」「OFF」が切り替わります。
（ボタンがより出っ張った状態が「ON」です。）

・アラームボタンを「ON」にする
---- セットした時刻になるとアラームが鳴ります。
・アラームボタンを「OFF」にする
---- アラームは鳴りません。

7 アラームを止める

アラームボタンを「OFF」にしてください。

▶ ためしならしについて

おとスイッチを ためしならし の位置に合わせ、
アラームボタンを「ON」にしてください。
きりかえスイッチで選択されたアラーム音が鳴ります。
※ためしならしを途中で止めるときは、アラームスイッチを「OFF」または、おとスイッチを ちいさい 、おおきい のいずれかに合わせてください。

必ずお守りください。 安全上のご注意 ▶

⚠ 警 告

<アルカリ電池について>

(1)ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。

(2)万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

(3) ⊕⊖ を正しく入れてください。

<梱包用ポリ袋について>

ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

⚠ 注 意

<電池について>

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

(1)電池は必ず ⊖ 側から入れてください。また ⊕⊖ を正しく入れてください。

(2)製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていてもすべて新電池と交換してください。また、時計を使わないときは電池をすべてはずしてください。電池の一部の交換や、電池を入れたままにしておくと、他の部分の止まりや古い電池からの液漏れ等で時計や、周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。

(3)付属の電池は充電式ではないので充電すると液もれ、破損のおそれがあります。

(4)電池に直接ハンダ付けしたり、水滴をつけないでください。

(5)直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。また使用済みの電池は、速やかに処分または幼児の手の届かないところに保管してください。

(6)時計が動かない等の場合、電池端子が汚れている場合があります。やわらかい布などでクリーニングしてください。

(7)付属の電池は工場出荷時より付けられている動作を確認するためのモニター用電池（お試し用電池）です。お買い上げ後、仕様の年数に満たないうちに電池寿命が切れることがあります。

(8)充電式電池や初期電圧が高い電池は使用しないでください。正常に動作しない、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

<時計の設置場所について>

落下や転倒により、けがおよび器物を破損する恐れがありますので、振動のある所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

必ずお読みになってからご使用ください。 ▶

使用場所について

下記のような場所では使わないでください。

機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また本商品は業務用ではありません。

暑い場所

寒い場所

振動の激しい場所

湿気の多い場所

●温度が＋50℃（50度）以上になる所や直射日光のあたる所。
例えば、屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。

●温度が -10℃（氷点下10度）以下になる所。
［プラスチック部品や電池の劣化が起きることがあります。］

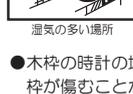
●塵、埃の多い所。
［空気中に舞い上がったごみが歯車や接点に挟まって時計が止まったり、音が鳴らなくなることがあります。］

●大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。

［磁力の影響で進み、遅れを生じたり、時計が止まることがあります。］

●浴室など湿気の多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所。

●振動のある所。不安定な所。

●工場、台所など多くの油を使用する所。
［霧状になった油分が機械の歯車等に付着し、時計が止まることがあります。］

●ビニール系素材の壁や敷物等の上。
壁や敷物および時計が汚れたり、傷んだりすることがあります。

●木枠の時計の場合には、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。また、４０度以上の高温になりますと、接合部のフクレやハガレが起きる場合があります。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、２・３年に一度の点検・調整(有料)をおすすめいたします。販売店にご相談ください。

●ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。変色、傷の恐れがあります。

プラスチック枠の時計の場合

●枠をふくときは、湿った、やわらかい布でふいてください。

●よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾ぶきしてください。

木枠・金属枠の時計の場合

●よごれやほこりをとるときは、やわらかい布で乾ぶきしてください。

※お客様が分解しますと、修正不可能になる場合やけがの恐れがあり大変危険です。また保証の対象外となりますのでご注意ください。

保証・アフターサービス ▶

●この時計はメーカー保証です。
保証の内容については保証書をご覧ください。
尚、保証書は日本国内のみ有効です。
また、アフターサービスも海外ではできません。

●保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買い上げ店がお預かりしメーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。

●保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。

●この時計の修理用部品は、3年間保有しています。
この期間は原則として修理が可能です。
修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。
また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。
お買い上げ店にご相談ください。

●修理のとき、部品・その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。

●保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛り費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。

●保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買い上げ店にお持込みいただきます。修理を依頼されるときはお買い上げ店にご持参ください。

●お客様が分解しますと修理不可能になる場合やけがの恐れがあり大変危険です。また保証の対象外となりますのでご注意ください。

●ご不明の点は裏面お客様相談室にお問い合わせください。

故障かなと思ったときには ▶

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。なお、新しい電池と交換される際は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症　状	考えられる原因	処　置
針が動かない。	・電池が入っていない。 ・電池が正しい向きで入っていない。 ・電池端子や接片が汚れている。	・新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。 ・電池端子や接片の表面を拭いてください。 また、電池を入れて２～３回まわしてください。
アラームが鳴らない。	・アラームスイッチがOFFになっている。 ・電池容量が少ない。	・アラームスイッチをONにしてください。 ・新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。
アラーム時刻になったら針が止まった。	・電池容量が少ない。	・新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。

DJF−044P